

2026(令和8)年度 授業計画

服飾専門課程 **アパレル技術科 2年次**

目 次

【1】	服飾造形・実習Ⅱ	3201
【2】	立体構成(ドレーピング&パターンメイキング)実習Ⅱ	3202
【3】	ファッション画Ⅱ	3203
【4】	アパレルCGⅡ	3204
【5】	アパレルCADⅡ	3205
【6】	アパレル素材論Ⅱ	3206
【7】	パターンメイキング演習Ⅰ	3207
【8】	色彩論Ⅱ	3208
【9】	ファッションビジネスナレッジ	3209
【10】	特別講義Ⅱ	3210
【11】	インターンシップ	3211
【12】	中国語会話	3212
【13】	ビジネスコンピュータ(応用)	3213

服飾造形・実習Ⅱ

諸山 七生、菊地 正哲、坂口 英明

アパレル技術科 2年 通年(前期) 必修 (21単位 講義／実習・実技)

■授業の方針・概要

担当教員のパタンナーとしての実務経験を活かし、アパレル業界での物作りの考え方や方法をもとに、パタンナーとして必要な知識、技術、感性を学ぶ。服作りの一連の工程（デザイン、平面製図でのパターン作製、トワル組みによる立体造形、縫製を考慮した工業用パターン、仕様書作成、縫製工程分析、実物制作、検品・検寸）を行い、ベーシックアイテムを制作する。またコレクション等の写真を見本としたトワル作製を行い、立体の作り方やデザインに対する応用力を養う。

■到達目標（学修成果）

パターンとトワルの作業を繰り返し行うことで、平面と立体との相互関係を理解し、バランスを見る力や造形力を養う。ベーシックなデザインの立体造形力を身に付け、またその応用を学ぶ事が目標である。素材特性や縫製工程、工業生産を考慮した完成度の高いパターンメイキングを目標とし、基本的な縫製の知識と技術の習得を目指す。また、商品としての品質の良し悪しが判断できる感性を養うことを目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目であり、進級に必要な科目。パタンナーに必要なパターン力・造形力を養う最も重要な科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

作業段階ごとに個別にチェック・指導を行う。提出課題はチェック・採点後返却し解説を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	10%
外部評価・検定試験結果	10%

■教科書

PATTERN MAKING I・II

■参考文献

ドレメ式原型、Doreme NEW PATTERN BOOK No.1～9、基礎テキスト、SAWING I～IV
パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブック

■オフィスアワー・研究室

水曜日 15:30～16:00 本校舎4階 1044教室

■備考

日程及び授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 諸山	商品企画、プレゼンテーションについて 市場調査、スカート・パンツ・ブラウスのデザイン考案	予習：最新トレンドのチェック 復習：リサーチまとめ	60分
2回 諸山	スカート①：平面製図、トワル組み、修正 企業研修：(株)生田ブリーツ・(株)小林縫製工業・丸和繊維工業(株)	復習：パターンを仕上げる 企業研修の感想文	90分
3回 諸山	スカート②：工業用パターン、縫製仕様書 コンシールファスナーの扱いについて	復習：パターンを仕上げる	60分
4回 諸山	スカート③：工程分析、裁断、縫製、検品	予習：縫製方法、工程の確認 復習：縫製を仕上げる	60分
5回 諸山	パンツ①：平面製図、トワル組み、修正	復習：パターン修正、トワル修正	60分
6回 諸山	パンツ②：パターン修正、工業用パターン パンツの前明き、ファスナーの扱いについて	復習：パターンを仕上げる	60分
7回 諸山	パンツ③：工業用パターン、縫製仕様書、工程分析	復習：パターンを仕上げる	60分
8回 諸山	パンツ④：裁断、縫製、検品	予習：縫製方法、工程の確認 復習：縫製を仕上げる	60分
9回 諸山	ブラウス①：平面製図、トワル組み 台衿付きシャツカラー、袖口剣ボロあき	復習：パターン修正、トワル修正	60分
10回 諸山	ブラウス②：パターン修正、工業用パターン	復習：パターンを仕上げる	60分
11回 諸山	ブラウス③：工業用パターン、縫製仕様書、工程分析	復習：パターンを仕上げる 縫製方法、工程の確認	60分
12回 諸山	ブラウス④：裁断、縫製、検品 プレゼンテーション	復習：縫製を仕上げる 予習：プレゼンテーション準備	60分
13回 諸山	クリエイティブ・パターンメイキング① コレクション写真からのスカートの製図・トワル作製	予習：サイズ感、パターンを考える 復習：バランス、パターンの見直し	45分
14回 諸山	クリエイティブ・パターンメイキング② コレクション写真からのブラウスの製図・トワル作製	予習：サイズ感、パターンを考える 復習：バランス、パターンの見直し	45分
15回 諸山	クリエイティブ・パターンメイキング③ コレクション写真からのジャケットの製図・トワル作製	予習：サイズ感、パターンを考える 復習：バランス、パターンの見直し	45分

服飾造形・実習Ⅱ

諸山 七生、菊地 正哲、坂口 英明

アパレル技術科 2年 通年(後期) 必修 (21単位 講義／実習・実技)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 諸山	ジャケット①：デザイン、JK原型製図、ドレーピング	予習：最新トレンドのチェック、寸法出し	30分
2回 諸山	ジャケット②：平面製図、トワル組み、修正	復習：パターン、トワルを仕上げる	60分
3回 諸山	ジャケット③：パターン修正、工業用パターン	復習：パターンを仕上げる	60分
4回 諸山	ジャケット④：工業用パターン、縫製仕様書	復習：パターン、仕様書を仕上げる	60分
5回 諸山	ジャケット⑤：裁断、縫製	予習：縫製方法、工程の確認 復習：縫製を仕上げる	60分
6回 諸山	ジャケット⑥：縫製、検品	予習：縫製方法、工程の確認 復習：縫製を仕上げる	60分
7回 諸山	コート①：市場調査、生地研究、コンセプト・デザイン	予習：最新トレンドのチェック、デザイン考案 復習：リサーチまとめ	60分
8回 諸山	コート②：平面製図、半身トワル組み	復習：パターン、トワルを仕上げる	60分
9回 諸山	コート③：パターン修正、両身トワル組み	復習：パターン、トワルを仕上げる	60分
10回 諸山	コート④：パターン修正、部分縫い作成	復習：パターンを仕上げる	60分
11回 諸山	コート⑤：工業用パターン	復習：パターンを仕上げる	60分
12回 諸山	コート⑥：工業用パターン、縫製仕様書、工程分析	復習：パターンを仕上げる 縫製方法、工程の確認	60分
13回 諸山	コート⑦：裁断、縫製	復習：縫製を仕上げる	60分
14回 諸山	コート⑧：縫製、検品	復習：縫製を仕上げる	60分
15回 諸山	コート⑨：プレゼンテーション・審査	予習：プレゼンテーション準備	60分

立体構成（ドレーピング&パターンメイキング）実習Ⅱ

関 雅男

アパレル技術科 2年 通年(前期) 必修 (3単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

1年次で習得してきたアパレル企業で行われているスローパー（原型）の作製・展開及び考え方を基に、シルエット作り及び機能性をボディー上で具現化する授業である。担当教員がパターンメーカーとしての実務経験を活かし指導を行う。

■到達目標（学修成果）

個人の感性を高め、立体状で形を作り上げる技術力と、新しい感覚を養うことを目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目であり、進級に必要な科目。パターンメーカーとしての感覚面を高める授業になる。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内で課題を点検し、その場で個別指導を行う。授業への取り組み、課題の完成度等による総合評価とする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

初回にアナウンスします

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 関	ドレス原型 ドレーピングについての説明、前後身頃	予習：シーチングの地直し、地の目の見方	30分
2回 関	ドレス原型 前後スカート、ウエスト接ぎ	復習：原型をパターンに取る、組み立てる	30分
3回 関	ドレス原型 印付け、パターンの取り方、	復習：原型をパターンに取る、組み立てる	60分
4回 関	ドレス原型 印付け、パターンの取り方、ゆるみ入れ	復習：ゆるみ入り原型を組み立てる	60分
5回 関	ドレス原型 身頃の組み立てチェック、修正、袖の作図	復習：アームホールの形状に対する考え方	60分
6回 関	ドレス原型 袖のドレーピング	復習：袖山寸法の出し方	30分
7回 関	フラットカラー ドレーピング	復習：首の形、肩の厚みの考え方	30分
8回 関	台衿付きシャツカラー ドレーピング	復習：首の形、肩の厚みの考え方	30分
9回 関	プリンセスライン原型 身頃（プリンセスライン）ドレーピング	復習：プリンセスラインの考え方、作り方	30分
10回 関	プリンセスライン原型 パターンを取り身頃の組み立て	復習：シルエット及びダーツの取り方	45分
11回 関	プリンセスライン原型 身頃の組み立て、袖の作図	復習：アームホールの形状に対する考え方	45分
12回 関	プリンセスライン原型 袖のドレーピング	復習：袖山寸法の出し方	30分
13回 関	ショールカラー ドレーピング	復習：首の形、肩の厚みの考え方	30分
14回 関	スカート Aラインスカー ドレーピング	予習：シーチングの地直し、地の目の見方 復習：シルエット及びダーツの取り方	30分

立体構成（ドレーピング&パターンメイキング）実習Ⅱ

関 雅男

アパレル技術科 2年 通年(後期) 必修 (3単位 実習・実技)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 関	ワンピース&ジャケット OP前後身頃ドレーピング	予習：シーチングの地直し	30分
2回 関	ワンピース&ジャケット OP前後スカートドレーピング	予習：ダーツ展開とシルエットの出し方	30分
3回 関	ワンピース&ジャケット JK前後身頃ドレーピング	予習：ダーツ展開とシルエットの出し方	30分
4回 関	ワンピース&ジャケット 袖の作図、袖のドレーピング	復習：アームホールの形状に対する考え方	60分
5回 関	ワンピース&ジャケット 袖のドレーピング	復習：袖山寸法の出し方	30分
6回 関	ワンピース&ジャケット テーラードカラー（応用）	予習：上衿の付け方	30分

ファッション画Ⅱ

谷川 研

アパレル技術科 2年 通年(前期) 必修 (2単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

1年次で学んだ基礎を発展させ、ファッション画を描く感性と技術を養う。
マーカーをはじめとする様々な着彩や表現を学び、スタイル画と平絵の両方を描く力をつける。

■到達目標（学修成果）

目的に応じたファッション画を表現する事ができる。素材やシルエットを的確に捉えた平絵を描く事ができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業に必要な科目である。ファッション画を通して、人体や衣服の構造への理解と創造性を深め、服飾造形とも大きく関連する科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各課題にコメントやアドバイス等を記入する。課題の返却時にもアドバイス等を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

ファッション画。必要に応じてプリントを配布する。

■参考文献

必要に応じて適宜紹介する。

■オフィスアワー・研究室

- ・連絡先：教務課（本校舎1階）
- ・各回の授業終了後、質問等対応いたします。

■備考

授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 谷川	画材の表現 マーカーの着彩方法	復習 反復練習	30分
2回 谷川	様々なポーズの表現 重心移動ポーズの復習	復習 反復練習	30分
3回 谷川	画材の表現 画材を使用した様々な技法	復習 反復練習	30分
4回 谷川	模写 ファッションイラストから描く	予習 資料収集	30分
5回 谷川	コンテストに向けたデザイン画① デザインの考え方やリサーチについて。デザイン考案	復習 資料収集	30分
6回 谷川	コンテストに向けたデザイン画② デザイン画作成	復習 作業確認	30分
7回 谷川	コンテストに向けたデザイン画③ デザイン画仕上げ	復習 仕上げ作業	30分
8回 谷川	ディティール・装飾等① スケッチし細部を知る	予習 資料収集	30分
9回 谷川	ディティール・装飾等② スケッチからのデザイン考案	復習 作業確認	30分
10回 谷川	ディティール・装飾等③ デザイン画仕上げ、平絵	復習 仕上げ作業	30分
11回 谷川	模写① コレクションから描く	予習 資料収集	30分
12回 谷川	模写② 仕上げ	復習 仕上げ作業	30分
13回 谷川	アイテムのデザイン提案① コートのデザイン考案	予習 資料収集	30分
14回 谷川	アイテムのデザイン提案② コートのデザイン画作成	復習 作業確認	30分
15回 谷川	アイテムのデザイン提案③ デザイン画仕上げ、平絵	復習 仕上げ作業	30分

ファッション画Ⅱ

谷川 研

アパレル技術科 2年 通年(後期) 必修 (2単位 実習・実技)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	
16回 谷川	テーマに合わせたデザイン提案① 様々な柄の描き方	予習 資料収集	30分
17回 谷川	テーマに合わせたデザイン提案② 柄を使用したデザイン考案	復習 作業確認	30分
18回 谷川	テーマに合わせたデザイン提案③ デザイン画仕上げ、平絵	復習 仕上げ作業	30分
19回 谷川	コラージュ① コラージュ作成	予習 資料収集	30分
20回 谷川	コラージュ② コラージュからのデザイン考案	復習 作業確認	30分
21回 谷川	コラージュ③ デザイン画仕上げ、平絵	復習 仕上げ作業	30分
22回 谷川	テーマに合わせたデザイン提案① 様々な素材の描き方	予習 資料収集	30分
23回 谷川	テーマに合わせたデザイン提案② 素材を生かしたデザイン考案	復習 作業確認	30分
24回 谷川	テーマに合わせたデザイン提案③ デザイン画仕上げ、平絵	復習 仕上げ作業	30分
25回 谷川	メンズファッション① 重心移動ポーズの模写	復習 作業確認	30分
26回 谷川	メンズファッション② 重心移動ポーズの模写仕上げ、平絵	復習 仕上げ作業	30分
27回 谷川	トラベルコーディネート① コラージュ作成	予習 資料収集	30分
28回 谷川	トラベルコーディネート② トラベルコーディネートの考案	復習 作業確認	30分
29回 谷川	トラベルコーディネート③ デザイン画仕上げ、プレゼンテーション	予習 仕上げ作業	30分
30回 谷川	平絵の復習 平絵、まとめ	復習 振り返り	30分

アパレルC G II

中根 歩

アパレル技術科 2年 通年(前期) 必修 (4単位 演習)

■授業の方針・概要

アパレルCADや表計算ソフトは、パタンナーはもちろんのことデザイナーにとっても非常に身近なツールであり、縫製仕様書における平絵や仕様図・断面図等の作図能力、それらを書類としてまとめる編集能力は、就職後に即戦力として活躍するために必要不可欠なスキルです。1年次で習得したアパレルCADの基本操作を基に、服飾造形に即した包括的・実践的な演習を行います。

■到達目標（学修成果）

東レクレアコンボ及びMicrosoft Excelを用い、縫製仕様書に必要な作図方法及び表作成に関する知識の習得を目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

3年次に進級するための必要な科目。
パタンナー（デザイナー）として縫製仕様書の具体的な作成方法を理解するための科目。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内で不明点がある場合、その場で個人指導を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

授業に合わせてプリントを配布する。

■参考文献

CREACOMP0オペレーションマニュアル Toray Advanced Computer Solution INC

■オフィスアワー・研究室

授業終了後に質疑応答の時間を設ける。

■備考

授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 中根	縫製仕様書とは・基本的な平絵の描き方の説明	予習：1年次に学習したCADの基本操作を確認	30分
2回 中根	スカートの平絵のバリエーション演習	予習：教科書に掲載されているスカートの種類を確認	30分
3回 中根	スカートに代表される仕様・断面図の作図	予習：スカートの主な仕様を確認	30分
4回 中根	Excelの基本操作・スカートの縫製仕様書作成	復習：Excelの基本操作を覚える	30分
5回 中根	パンツの平絵のバリエーション演習	予習：教科書に掲載されているパンツの種類を確認	30分
6回 中根	パンツに代表される仕様・断面図の作図	予習：パンツの主な仕様を確認	30分
7回 中根	パンツの縫製仕様書作成	復習：Excelの基本操作に慣れる	30分
8回 中根	ブラウス・シャツの平絵のバリエーション演習	予習：教科書に掲載されているブラウス・シャツの種類を確認	30分
9回 中根	ブラウス・シャツに代表される仕様・断面図の作図	予習：ブラウス・シャツの主な仕様を確認	30分
10回 中根	ブラウス・シャツの縫製仕様書作成	復習：Excelの基本操作に慣れる	30分
11回 中根	ジャケットの平絵のバリエーション演習	予習：教科書に掲載されているジャケットの種類を確認	30分
12回 中根	ジャケットに代表される仕様・断面図の作図1	予習：ジャケットの主な仕様を確認	30分
13回 中根	ジャケットに代表される仕様・断面図の作図2	予習：ジャケットの主な仕様を確認	30分
14回 中根	ジャケットの縫製仕様書作成	復習：Excelの基本操作をマスターする	30分
15回 中根	コート of 平絵のバリエーション演習	予習：教科書に掲載されているコートの種類を確認	30分

アパレルCGⅡ

多田 純子

アパレル技術科 2年 通年(後期) 必修 (4単位 演習)

■授業の方針・概要

ファッション業界のみならず、デザイン業務においてスタンダードアプリケーションソフトであるIllustrator・Photoshopのスキルアップを目指し、さまざまな応用テクニックを実践していく。それぞれの目的に沿ったイメージを表現できる活用方法を学ぶ。(作品のポートフォリオやスタイルブック等を効果的に見せるページ構成力をつける)

■到達目標 (学修成果)

Illustrator・Photoshopを使い、さらに表現方法の幅を広げ、効果的・効率的に操作できることを目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目であり、進級に必要な科目。

東レクレーコンポ・Microsoft Excel・Illustrator・Photoshopを効果的に使いこなし、パタンナーやデザイナーとしての業務をスムーズに遂行する為のスキルが身につく。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内で不明点がある場合、その場で個人指導 及び 必要に応じて全体へのフィードバックを行う。

作品はPDFデータで提出、個別講評でフィードバックする

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

授業に合わせてプリント(データ)を配布する

■参考文献

随時、授業内容に合わせてネットから検索

■オフィスアワー・研究室

9/30～2/3 毎週火曜 6101教室 (第6校舎)

■備考

日程及び授業内容は変更することもある

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 多田	1～2年次に制作した作品のポートフォリオ(就職活動用) ポートフォリオの必要性、作り方	復習: データ整理・確認	30分
2回 多田	1～2年次に制作した作品のポートフォリオ(就職活動用) レイアウトの基本(ページ構成)	復習: データ整理・確認	30分
3回 多田	1～2年次に制作した作品のポートフォリオ(就職活動用) デザイン(レイアウト) 考察	データ整理・確認 (どの作品を使うか決定する)	30分
4回 多田	1～2年次に制作した作品のポートフォリオ(就職活動用) デザイン(レイアウト) 考察	イメージ写真等フリー素材のセレクト	30分
5回 多田	レイアウト・ラフ作成 手描き ①	手描き作業(PCも可)	30分
6回 多田	レイアウト・ラフ作成 手描き ②	手描き作業(ページ構成の決定)	30分
7回 多田	レイアウト・ラフ作成 手描き ③	復習: データ整理・確認	30分
8回 多田	デザイン(レイアウト) PC作業 ①	復習: データ整理・確認	30分
9回 多田	デザイン(レイアウト) PC作業 ②	復習: データ整理・確認	30分
10回 多田	デザイン(レイアウト) PC作業 ③	復習: データ整理・確認	30分
11回 多田	デザイン(レイアウト) PC作業 ④	復習: データ整理・確認	30分
12回 多田	デザイン(レイアウト) PC作業 ⑤	復習: データ整理・確認	30分
13回 多田	デザイン(レイアウト) PC作業 ⑦	復習: データ整理・確認	30分
14回 多田	クラス発表	復習: データ整理・確認	30分
15回 多田	クラス発表	復習: データ整理・確認	30分

アパレルC A DⅡ

菊地 正哲

アパレル技術科 2年 通年(前期) 必修 (6単位 演習)

■授業の方針・概要

授業担当者のパターンナーとしての実務経験とパターンナーへの技術指導の実績を活かし、アパレルC A Dシステムの実践的な活用法を習得することを目指す。特にこれからのI T社会に対応したスキルを身につける為、パターンメイキングだけではなく、データ管理の方法と仕様書作成、及び3 Dの基本的な操作の実習も行う。

■到達目標（学修成果）

アパレルC A Dシステムを使い、パターンメイキングの応用操作、グレーディング・マーキングの基本操作の習得を目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

3年に進級するための必要な科目。C A Dシステムの活用法を理解するための科目。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業の中で、質問に答えてその都度、解決していく。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

P A T T E R N M A K I N G I ・Ⅱ・Ⅲ

■参考文献

C R E A C O M P OⅡ オペレーションマニュアル

■オフィスアワー・研究室

金曜日（15時35分～17時00分）6101教室（第六校舎1F C A D室）

■備考

状況により内容変更有り。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 菊地	身頃ダーツ展開12種類	予習:展開方法を確認しておく。	30分
2回 菊地	スカート①:シルエット原型3種類	復習:項目、機能を整理する。	30分
3回 菊地	スカート②:3 Dデジタルトワル作成	復習:項目、機能を整理する。	30分
4回 菊地	スカート③:工業用パターン作成	復習:裏地の展開確認しておく。	30分
5回 菊地	スカート④:仕様書作成	復習:作成資料を確認する。	30分
6回 菊地	パンツ①:シルエット原型3種類	復習:項目、機能を整理する。	30分
7回 菊地	パンツ②:パターンメイキング	復習:項目、機能を整理する。	30分
8回 菊地	パンツ③:3 Dデジタルトワル作成	復習:項目、機能を整理する。	30分
9回 菊地	パンツ④:工業用パターン作成	予習:ポケット等の仕様を確認しておく。	30分
10回 菊地	パンツ⑤:仕様書作成	復習:作成資料を確認する。	30分
11回 菊地	ブラウス①:パターンメイキング	復習:項目、機能を整理する。	30分
12回 菊地	ブラウス②:パターンメイキング	復習:項目、機能を整理する。	30分
13回 菊地	ブラウス③:3 Dデジタルトワル作成	復習:項目、機能を整理する。	30分
14回 菊地	ブラウス④:工業用パターン作成	予習:襟の展開等を確認しておく。	30分
15回 菊地	ブラウス⑤:仕様書作成	復習:作成資料を確認する。	30分

アパレルCADⅡ

菊地 正哲

アパレル技術科 2年 通年(後期) 必修 (6単位 演習)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 菊地	ジャケット①：シルエット原型3種類	復習：項目、機能を整理する。	30分
2回 菊地	ジャケット②：3面パターンメイキング	復習：項目、機能を整理する。	30分
3回 菊地	ジャケット③：3面パターンメイキング	復習：項目、機能を整理する。	30分
4回 菊地	ジャケット④：3Dデジタルトワル作成	復習：項目、機能を整理する。	30分
5回 菊地	ジャケット⑤：工業用パターン作成	予習：襟の展開を確認しておく。	30分
6回 菊地	ジャケット⑥：工業用パターン作成	予習：裏地の展開を確認しておく。	30分
7回 菊地	ジャケット⑦：仕様書作成	復習：作成資料を確認する。	30分
8回 菊地	ジャケット⑧：4面パターンメイキング	復習：項目、機能を整理する。	30分
9回 菊地	ジャケット⑨：3Dデジタルトワル作成	復習：項目、機能を整理する。	30分
10回 菊地	ジャケット⑩：工業用パターン作成	予習：裏地の展開を確認しておく。	30分
11回 菊地	ジャケット⑪：仕様書作成	復習：作成資料を確認する。	30分
12回 菊地	マーキング実習	復習：項目、機能を整理する。	30分
13回 菊地	グレーディング原理	復習：項目、機能を整理する。	30分
14回 菊地	グレーディング実習	復習：項目、機能を整理する。	30分
15回 菊地	まとめ（試験）	復習：作成資料を確認する。	30分

アパレル素材論Ⅱ

赤澤 結花

アパレル技術科 2年 通年(前期) 必修 (2単位 講義/演習)

■授業の方針・概要

アパレル素材の基本である織物と編物についての基礎知識を学ぶ。織物では、織物の基本である「三原組織」は紙を切って経糸と緯糸を作り、「平織」「綾織」「朱子織」を手で織ってみる。紙で織った組織と既製の布を分解鏡で見比べ、基本的な織り方の知識を深める。同様に「千鳥格子」「ヘリンボーン」「タータンチェック」も紙で織ることによって、織物によるストライプとチェックの特徴と変化組織についても学んでいく。また、実際に卓上織機でマフラーを織ることで、織物の仕組みを理解する。編物では、基本的な知識を学び、棒針編とカギ針編を体験することで、編物の構造を理解する。

■到達目標（学修成果）

織物と編物を通して、アパレル素材に対する知識を深める。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業に必要な科目。アパレル素材の知識を深めることは、より充実した作品制作とアパレル企業で働くことに役立つ。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題提出物返却時に講評を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

必要に応じてプリントを配布

■参考文献

テキスタイル用語辞典 成田典子著 (株) テキスタイル・ツリー

■オフィスアワー・研究室

毎週：月曜日（16時00分～17時00分）5201教室（第5校舎2階）

■備考

授業内容は変更することもある。

■授業計画（前期）

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 赤澤	紙で織る三原組織 平織、綾織、朱子織	復習：既製の生地を見る	30分
2回 赤澤	紙で織る綾織の応用 千鳥格子、ヘリンボーン、タータンチェック	復習：仕上げる	30分
3回 赤澤	卓上織機でマフラーを織る 設計書の記入 整経～箆通し	予習：タテ糸を用意する	30分
4回 赤澤	綜統通し～巻取り 織付け ヨコ糸準備 試し織り 織布	予習：ヨコ糸を用意する	30分
5回 赤澤	織布	復習：できるところまで進める	30分
6回 赤澤	織布～仕上げ	復習：仕上げる	30分

■授業計画（後期）

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 赤澤	編み物について 棒針編み 平編	復習：規定のところまで進める	30分
2回 赤澤	棒針編 ゴム編 パール編	復習：仕上げる	30分
3回 赤澤	かぎ針編み 基本の編み方	復習：規定のところまで進める	30分
4回 赤澤	応用の編み方	復習：仕上げる	30分

パターンメイキング演習Ⅰ

諸山 七生

アパレル技術科 2年 通年(前期) 必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

パターンメイキング技術検定試験対策の授業である。パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブックの内容を理解し、ファッション業界の基礎知識・技術と、パターンメイキングに関する基礎知識・技術等を習得する。受験対策として、繰り返し模擬試験を行う。担当教員のパタンナーとしての実務経験を活かし指導を行う。

■到達目標（学修成果）

「パターンメイキング技術検定試験3級」の取得を目的とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目であり、卒業に必要な科目。パタンナーとしての基礎能力習得の証しとなる。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内で模擬試験の解答、解説を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	10%
外部評価・検定試験結果	20%

■教科書

なし

■参考文献

パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブック

パターンメイキング技術検定試験3級試験問題解答・解説集

■オフィスアワー・研究室

水曜日（15:30～16:00）1044教室（本校舎4階）

■備考

日程及び授業内容は変更することもある。

■授業計画（前期）

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 諸山	パターンメイキング技術検定試験3級について、ガイドブック読み合わせ説明	予習：ガイドブック確認	30分
2回 諸山	筆記試験対策①（模擬試験）	復習：模擬試験結果の確認	30分
3回 諸山	筆記試験対策②（模擬試験）	復習：模擬試験結果の確認	30分

■授業計画（後期）

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 諸山	実技試験対策①-1 パターンメイキング・トワル組立て	予習：シーチング地直し 復習：パターン・トワルの確認	40分
2回 諸山	実技試験対策①-2 パターンメイキング・トワル組立て	予習：シーチング地直し 復習：パターン・トワルの確認	40分
3回 諸山	実技試験対策②-1 パターンメイキング・トワル組立て（模擬試験）	予習：シーチング地直し 復習：パターン・トワルの確認	40分
4回 諸山	実技試験対策②-2 パターンメイキング・トワル組立て（模擬試験）	予習：シーチング地直し 復習：パターン・トワルの確認	40分
5回 諸山	実技試験対策③-1 パターンメイキング・トワル組立て（模擬試験）	予習：シーチング地直し 復習：パターン・トワルの確認	40分
6回 諸山	実技試験対策③-2 パターンメイキング・トワル組立て（模擬試験）	予習：シーチング地直し 復習：パターン・トワルの確認	40分
7回 諸山	パターンメイキング検定試験準備 筆記試験、実技試験の確認	復習：検定試験の準備	30分

色彩論Ⅱ

桑野 恵美

アパレル技術科 2年 後期 選択 (1単位 講義)

■授業の方針・概要

色彩の基礎を理解した上でのファッション業界での色彩の応用力を講義と演習で学習する。
授業担当者は、各分野に落とし込んだ色彩提案を行う、カラーコンサルタント会社での実務を通じて感性に頼った色の考え方ではなく、客観的な視点でビジネスに通用する色の考え方や手法についての理解を目指す。

■到達目標（学修成果）

ファッション色彩能力検定試験2級（1月実施予定）の受験を前提とし、合格を目標とする。
ファッション業界の企画から流通にいたるまでの実務で、目的に合った効果的な色選びができる知識の習得を目指す。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

色彩学Ⅱは、ファッション業界での色彩実務が学べ、それを活用していくことができる専門力向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

- ・過去問題はポイント箇所を中心に解説を行います。問題集は、必要であれば解説を行います。
- ・カラーワークの課題について集めた場合は、個々にコメントを入れて返却しますが、同時に全体に向けての講評をします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	20%

■教科書

「ファッション色彩Ⅱ」 財団法人 日本ファッション教育振興協会
「ファッション色彩能力検定試験2級問題集」 財団法人 日本ファッション教育振興協会

■参考文献

適宜アナウンスします。

■オフィスアワー・研究室

授業前後の時間で質問等対応します。

■備考

教科書、問題集、配色カード（1年次使用）、はさみ、のりは毎回、準備してください。
各回の授業の順番・内容は変更になる場合があります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 桑野	色名／光と色	色名の効果／光による色の見え方 テキスト確認/該当ページの問題を解く	60分
2回 桑野	照明による色の再現性／配色技法①（流行配色）	照明による見え方の違い/配色効果 テキスト確認/該当ページの問題を解く	60分
3回 桑野	色覚・色彩の知覚的效果／配色技法②（流行配色・その他の配色）	視覚と色の知覚的效果／配色技法 テキスト確認/該当ページの問題を解く	60分
4回 桑野	色の表示／色見本とカラーコード/調和の技術	色の表示の目的と意味 テキスト確認/該当ページの問題を解く	60分
5回 桑野	色彩調和論／配色の応用	色彩調和論とその応用 テキスト確認/該当ページの問題を解く	60分
6回 桑野	ファッションイメージとカラーファッション産業における色彩計画①	イメージ配色/企画・生産段階の色彩ポイントの確認 該当ページの問題を解く	60分
7回 桑野	ファッション産業における色彩計画②	段階における色彩ポイントの確認 該当ページの問題を解く	120分
8回 桑野	過去問題のフィードバック/総復習	苦手な箇所を本文で確認する 問題集を繰り返し解く	120分

ファッションビジネスナレッジ

諸山 七生

アパレル技術科 2年 通年(前期) 選択 (1単位 講義)

■授業の方針・概要

ファッションビジネス能力検定試験対策の授業である。ファッションに関する専門的な知識、及び商品の流通・販売に関する知識の習得すること、ファッション業界の変遷や傾向を理解し、総合的なファッションビジネスの知識を高めることを目指し学習する。

■到達目標（学修成果）

「ファッションビジネス能力検定試験 2 級」取得を目的とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

選択科目のため、卒業要件科目ではありません。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内で模擬試験の解答、解説を行う

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	10%

■教科書

ファッションビジネス 2 級（新版）

■参考文献

ファッションビジネス用語辞典（改訂版）

ファッションビジネス能力検定試験 2 級項目別試験問題・解説集

■オフィスアワー・研究室

火曜日（13:30～16:00）1044教室（本校舎4階）

■備考

検定試験の日程・内容に合わせ、授業日程・内容は変更することがある。

■授業計画（前期）

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 諸山	ファッションビジネスの特性、ファッション生活と消費	予習：教科書を読む	30分
2回 諸山	ファッション産業構造、ファッションマーケティング	予習：教科書を読む	30分
3回 諸山	ファッションマーチャндаイジング、アパレル生産と物流	予習：教科書を読む	30分
4回 諸山	ファッション流通とコミュニケーション	予習：教科書を読む	30分
5回 諸山	キャリアプラン、ビジネス基礎知識	予習：教科書を読む	30分
6回 諸山	ファッション文化とデザイン文化、ファッションコーディネート	予習：教科書を読む	30分
7回 諸山	ファッション商品知識、ファッションデザイン	予習：教科書を読む	30分
8回 諸山	ファッションエンジニアリング	予習：教科書を読む	30分

■授業計画（後期）

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 諸山	模擬試験① 答え合わせ、解説	予習：模擬試験を解く	45分
2回 諸山	模擬試験② 答え合わせ、解説	予習：模擬試験を解く	45分
3回 諸山	模擬試験③ 答え合わせ、解説	予習：模擬試験を解く	45分
4回 諸山	模擬試験④ 答え合わせ、解説	予習：模擬試験を解く	45分
5回 諸山	模擬試験⑤ 答え合わせ、解説	予習：模擬試験を解く	45分
6回 諸山	模擬試験⑥ 答え合わせ、解説	予習：模擬試験を解く	45分
7回 諸山	総復習、まとめ	復習：模擬試験の確認	60分

特別講義Ⅱ

諸山 七生

アパレル技術科 2年 通年(前期) 必修 (1単位 講義)

■授業の方針・概要

年間を通じて、ファッション業界で活躍するスペシャリストを招き、ファッション業界の現状から最新のトレンドや企画立案、技術的な部分までの講義を聞き、常に最新の知識や技術を学ぶことを目標とする。プロフェッショナルな物作りの考え方を修得し、知識の向上を目指す。

■到達目標（学修成果）

服飾造形・実習Ⅱの授業と連携しながら、学内では学べないファッション業界の現場を知ること、今学んでいる事の重要性を感じ自己の知識向上を目的とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目のため、卒業に必要な科目。将来の就職に向けて仕事を理解するために必要である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

講義ごと聴講した後にレポート等を提出させ、点検後に返却する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

必要に応じて資料を適宜配布する。

■オフィスアワー・研究室

授業終了後、質問等に対応する。

■備考

外部講師による授業なので、内容や時間等は先生により変更することもある。

■授業計画（前期）

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 外部	コレクショントレンドセミナー	復習：レポート課題	30分
2回 外部	現代ファッションの歴史	復習：レポート課題	30分
3回 外部	副資材について（YKKセミナー）	復習：デザイン課題	30分
4回 外部	ジュエリーの知識	復習：レポート課題	30分
5回 外部	サステイナブルファッション	復習：レポート課題	30分

■授業計画（後期）

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 外部	皮革の扱い方（演習を含む）	予習：デザイン考案	30分
2回 外部	アイロンテクニック	復習：レポート課題	30分
3回 外部	ニューヨークコレクショントレンドセミナー	復習：レポート課題	30分

インターンシップ

諸山 七生

アパレル技術科 2年 通年(前期) 選択 (2単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

インターンシップ（就労体験）を通して、専門分野に関連する実務体験を企業で体験・学修します。実務能力を高め、企業で必要とされる能力を感じ取ることで、卒業後の就職に対する意欲と学内での学修をより深く理解することができる。

■到達目標（学修成果）

学内授業では得られない就労体験を行うことで将来の就職に生かせる理解と能力を身につけることを目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、卒業要件科目ではありません。将来の就職に向けて仕事を理解するための選択科目。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

研修日誌による毎日の提出内容の企業研修先による講評、最終報告書提出の講評を当日その都度フィードバックする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	20%

■教科書

なし

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

授業初日に伝達。就職部

■備考

実務時期、期間：2年生または3年生で8日から10日相当（評価は3年次）

研修内容、地域：企業により異なる。地域は主に首都圏および各県。実施期間等に変更になる事もある

■授業計画（前期）

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 就職課	オリエンテーション：研修の心得とマナー等について	予習：企業について研究する。	90分
2回 諸山	面談：研修先企業や職種について面談	復習：研修先について検討する。	60分
3回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
4回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
5回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
6回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
7回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
8回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分

■授業計画（後期）

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
2回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
3回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
4回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
5回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
6回 企業	事後報告：報告書、研修日誌のまとめ	復習：研修日誌を書く。報告書をまとめる	60分
7回 諸山	□ 事後報告：報告書、研修日誌の提出と報告会での発表	□ 復習：講評を振り返る。	30分

中国語会話

盧 繁華

アパレル技術科 2年 前期 選択 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

まずは中国語の「発話」から学習します。正確な発音や中国語式スペリングをしっかりと覚えてから、文の構造及び基礎文法文型と慣用語句を学びます。聴く、話す、書くという形式で授業を進めます。

■到達目標（学修成果）

話せる、聞き取れる中国語会話力を身につけることと日中翻訳もできる目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目ではありませんが、職場にて必要な場合に対応できる一つの語学技能となります。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内と授業外の指定小テストがあり、期末テストの成績と合算して総合成績評価とします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

『はじめよう楽々中国語』（白水社）

■参考文献

学内の図書館にある各種類の辞典、週刊新聞の『中文導報』等を利用します。

■オフィスアワー・研究室

毎週月曜日14：30～16：15までの時間帯は大学研究棟の6030号室にいます。

■備考

無し

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 盧	第1課、①中国語のスペリングのしくみ、②母音の種類	第1課の母音種類の発声練習	30分
2回 盧	第2課、①中国語のスペシャルの表記法、②子音種類	第2課の子音種類の発声練習	30分
3回 盧	第3課Ⅰ、時の表現、何月何日？ / 何時？	第3課の数、月日・曜日、時刻	35分
4回 盧	第3課Ⅱ、第4課Ⅰ、お名前は？ / どちらの学校？	第4課の人称名詞、「是」の構文	35分
5回 盧	第4課Ⅱ、第5課Ⅰ、だれ？ / なに？ / これは～です	第5課の動詞の文、疑問詞の種類	40分
6回 盧	第5課Ⅱ、第6課Ⅰ、いる / ある /	第6課の指示代名詞Ⅰ、「有」の文	40分
7回 盧	第6課Ⅱ、第7課Ⅰ、どこにいる？ / AそれともB？	第7課の指示代名詞Ⅱ、「在」の文	40分
8回 盧	第7課Ⅱ、第8課Ⅰ、どれくらいかかる？ / するのが好きだ	第8課の形容詞の文、前置詞	40分
9回 盧	第8課Ⅱ、第9課Ⅰ、いくら？ / Aよりも～です？	第9課の比較文、手段方法の表現	40分
10回 盧	第9課Ⅱ、第10課Ⅰ、～したい / どこで？	第10課の助動詞使い方、過去形	40分
11回 盧	第10課Ⅱ、第11課Ⅰ、～できる？ / ～していい？	第11課の助動詞の各種類の表現	40分
12回 盧	第11課Ⅱ、第12課Ⅰ、～している / ～したことがある	第12課の動詞の各種の進行形	40分
13回 盧	第12課Ⅱ、会話の総合まとめ	常用品詞と慣用語の復習	50分
14回 盧	文型の総合まとめ	基本文法・文型の復習	50分
15回 盧	確認筆記テスト	セルフチェック	60分

ビジネスコンピュータ（応用）

齋藤 宣

アパレル技術科 2年 前期 選択 （2単位 演習）

■授業の方針・概要

現代のビジネスにおいて、コンピュータは必要不可欠なツールです。特に、Microsoft Office系アプリケーションソフト（Word、Excel、PowerPoint）は、多くの業界で広く利用されています。これらのアプリケーションの中でも、データ分析や資料作成に不可欠なExcelに焦点を当て、その操作を習得します。具体的には、計算や関数、グラフ作成などの操作を通して、ビジネスで役立つ実践的な活用方法を学びます。

■到達目標（学修成果）

Microsoft Office系アプリケーションソフトの中でも、特にExcelの操作を習得し、ビジネスにおける資料作成に必要な操作を実践できるようになることを目指します。具体的には、以下のスキルを習得し、業務効率向上に貢献できる人材を育成します。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目ではありませんが、社会人に必須なPCスキルの基本を身に付ける科目である

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内で不明点がある場合、その場で個人指導を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(7レクレーション含む)	20%
期末試験・課題(7レクレーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

よくわかる Excel2016 応用（FOM出版）
エクセル&ワード&パワポ+エクセル関数 基本&便利ワザまるわかり（GAKKEN COMPUTER MOOK）

■オフィスアワー・研究室

毎週：火曜日（16時00分～17時00分）本校舎3階1036教室

■備考

日程及び授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 齋藤	Excel 基本の復習	予習：Excel基本操作	30分
2回 齋藤	Excel 計算問題の復習①	復習：操作確認	30分
3回 齋藤	Excel 計算問題の復習②	復習：操作確認	30分
4回 齋藤	Excel 関数の復習	復習：操作確認	30分
5回 齋藤	Excel 基本的な関数の利用①	復習：操作確認	30分
6回 齋藤	Excel 基本的な関数の利用②	復習：操作確認	30分
7回 齋藤	Excel 相対参照と絶対参照	復習：操作確認	30分
8回 齋藤	Excel VLOOKUP関数とデータ検索	復習：操作確認	30分
9回 齋藤	Excel ピボットテーブルの基本	復習：操作確認	30分
10回 齋藤	Excel グラフの作成と編集	復習：操作確認	30分
11回 齋藤	Excel データの並べ替えとフィルター	復習：操作確認	30分
12回 齋藤	Excel 日付と時刻の関数	復習：操作確認	30分
13回 齋藤	Excel 条件付き集計関数	復習：操作順序の確認	30分
14回 齋藤	Excel 復習・模擬テスト	復習：模擬テストの確認	30分
15回 齋藤	Excel テスト	予習：テスト勉強	60分